

D：児童・生徒指導の推進

～ 小学校と中学校の連携のための相互理解 ～

研修のねらい

児童・生徒指導の内容や方法について、小学校と中学校の相違点とその理由を探ります。さらに、小学校と中学校が連携していく上で重視すべきことについて考えるとともに、受講者が今まで培ってきた児童・生徒指導の考え方を振り返ります。

研修の内容

児童・生徒指導を適切に推進していくためには、言うまでもなく、児童生徒の発達段階を考慮していくことが重要です。そのためには、小学校と中学校がそれぞれの発達課題を考慮しながら指導していくことに加え、小学校と中学校の状況を両者が相互に理解し合い、適切に連携していくことが大切です。

小学校と中学校は同じ義務教育ということで一つに括られることもありますが、学習活動をはじめとする諸活動やその指導方法等は、小学校と中学校では大きな違いがあります。

そこで本研修では、「小学校と中学校の連携を図るための相互理解」に焦点を当てます。授業の中でどのように児童・生徒指導を行っているのか、小学校と中学校それぞれの立場で協議することで相互理解を深め、今まで各自が培ってきた「児童・生徒指導」についての考えを見直したり確認したりします。

- 1 研究協議 1 「小・中学校での授業における児童・生徒指導とその相違点」
- 2 研究協議 2 「小・中学校の相互理解」
- 3 指導助言
- 4 振り返り

当日の持参品、課題等

・事前課題【様式D－1】

日ごろの授業における児童・生徒指導の取組について

児童・生徒指導に関して、小学校教諭の立場から中学校にお願いしたいこと。同様に、中学校教諭の立場から小学校にお願いしたいこと。

【様式D－1】（A 4 判、1 枚程度）に従って記入し、当日持参する。

・事前アンケート【様式D－2】

研修当日の班分けをするための参考資料にします。アンケート用紙に必要事項を記入し、8 月 3 0 日（金）までに総合教育センター研修部まで F A X にて送付する。

※事前アンケートは【様式D】に従って記入し、F A X にて送付すること。事前課題の持参部数及び様式については、7 月 2 6 日より W e b 発信します。